

世界史

一般選抜（2月7日実施分）

●全学部・全学科 A（前期日程）

【1】 次の文の（ ）に適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。また、下の問に答えよ。

中世後期のヨーロッパにおける自然探究は、古代ギリシアの著作にもとづいていた。しかし近世に入ると、南北アメリカ大陸の「発見」や錬金術・天文学の発達によって、自然界に関する古代の著作の権威は崩れ、自然を新たに解釈しようとする動きが始まった。

（ 1 ）世紀の（ 2 ）や（ 3 ）らは、はじめて高精度の望遠鏡を駆使して観測データを集め、天体の運動法則を解明した。同じ頃に顕微鏡も発明され、肉眼ではみえない世界への探究も始まった。こうして観察の対象となる自然界そのものが拡大したが、そのうえで、観察と（ 4 ）を経て自然界の諸現象にひそむ法則を解明し、さらに解明された法則を検証によって確認するという自然科学の基本的な手続きが確立された。またこの時代には、各種の科学協会やアカデミーが創設され、専門的な科学者が活動する場が整備されつつあった。こうした一連の変化を科学革命と呼ぶ。

科学革命の結果、ヨーロッパ人の自然観には根本的な変革もたらされたが、こうして急速に進歩しはじめた自然科学は、自然界を人間が正確に認識していることを前提としていた。これを思想面で保証したのが、フランスの である。彼は、全能の神から生まれつき与えられた人間の（ 5 ）が明晰に正しいと認めるものであれば、すべて真実とみなしてよいとした。 の哲学により、近世以降のヨーロッパ思想の柱の一つとなる、（ 5 ）を万能視する（ 6 ）主義が確立された。（ 6 ）主義は秩序と調和を重んじる姿勢を生み、これは芸術における古典主義に反映された。 の影響は全ヨーロッパに広がったが、これに対してイギリスの（ 7 ）は、人間の思考では、生後に獲得される知識と（ 8 ）が決定的な役割を果たし、思考の正確さも絶対的なものではなく確実性の違いにすぎないとして反対し、こうした姿勢は（ 8 ）主義として確立された。さらに、ドイツの は（ 6 ）主義と（ 8 ）主義の2つの立場を統合しようとして、 哲学への道を開いた。

人間の（ 5 ）への信頼は、法学的分野でも広まった。現実定められた法である（ 9 ）とは別の、（ 5 ）を備えた人間に普遍的に共通するルールとして想定された を探究しようとする試みが、（ 10 ）らによって始められた。また、（ 11 ）は の理論を国家関係の分析に適用することで、国際法理論を創始した。

〔語 群〕

- | | | | |
|------------|----------|-----------|------------|
| (ア) 計算 | (イ) 17 | (ウ) 絶対 | (エ) 16 |
| (オ) 経験 | (カ) ケプラー | (キ) 相対 | (ク) 合理 |
| (ケ) 実験 | (コ) 頭脳 | (ク) スピノザ | (シ) グロティウス |
| (ス) ライブニッツ | (セ) ガリレイ | (ソ) ニュートン | (タ) ホッブズ |
| (チ) バスカル | (ツ) ロック | (リ) 理性 | (ト) 概念 |
| (ナ) 直観 | (ニ) 律令制 | (ハ) 実定法 | (ホ) 論理実証 |

問 , , , に入る適切な語句を答えよ。

【2】 次の文の（ ）に適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。また、下の問に答えよ。

2009年にアメリカ合衆国で初となる非白人系の大統領となった（ 1 ）の（ 2 ）は、積極的な財政支出によって経済を立て直し、社会保障の整備にもつとめたが、深刻な社会格差は残った。グローバリゼーションにともない、賃金の安い海外へ国内産業が移転したことが、雇用回復をさまたげる一因であった。17年に大統領に就任した（ 3 ）の（ 4 ）は、国内産業の保護・育成、移民の受け入れ規制などに力を注ぎ、グローバリゼーションから距離をおく姿勢を強調した。

中国は、2010年にGDP(国内総生産)で（ 5 ）を抜き、アメリカにつぐ世界第2位の経済大国となった。12年に総書記に就任した（ 6 ）は、国内で自身への権力集中を実現するとともに、アジア・ヨーロッパ・アフリカにまたがる経済圏構想を打ち出し、国際社会での存在感を強めている。一方で、東シナ海・南シナ海の領土・権益をめぐる紛争や中印国境紛争など、中国の対外政策は強硬的な側面をもち、近隣諸国との摩擦を生んでいる。

ロシアでは、ソ連解体後の1990年代に民営化や地方分権化が進行したが、2000年に大統領に選出されたプーチンはこの動きをおしとどめ、国家による基幹産業・資源への管理を強化し、中央集権的な行政を確立した。2000年代には原油価格の上昇に支えられて好景気を迎えたが、石油・（ 7 ）に依存する経済構造は脆弱である。14年、プーチン政権はウクライナのクリミア半島に侵攻し、ロシアへの併合を宣言した。さらに、22年にはウクライナ全土に侵攻して、国際的な非難を浴びた。

EU(ヨーロッパ連合)では、西欧と東欧・南欧の経済格差がめだつようになり、2011年にはギリシアなど南欧諸国で財政危機が深刻化した。15年には、（ 8 ）内戦などから逃れるために、中東や北アフリカから移民・難民が大量にヨーロッパに流入し、大きな社会問題となった。西欧諸国ではEU内外からの移民の増加に対する反発がつのり、移民排斥など排外主義的な主張で世論の支持を集める、（ 9 ）と呼ばれる政治手法が伸張した。またイギリスでは、16年にEUからの離脱(ブレグジット)支持派が国民投票で勝利をおさめ、20年には離脱が実現した。

グローバリゼーションの一方で、今日の世界は（ 10 ）へ向かっている。だからこそ、諸国家の利害を調整して、平和的に紛争を解決するための国際的な協力が、従来以上に求められている。冷戦の終結以降は、地域紛争後の平和維持活動（（ 11 ））をはじめとして、国連の役割が増大しはじめている。国際協力における非政府組織（（ 12 ））や自治体の関与も、より増大していくであろう。たとえば、1997年に対人 全面禁止条約が調印されたが、その成立には非政府組織の活動が大きな役割を果たした。さらに国家や地域をこえた感染症や災害に対しても、各国が地域や経験を共有して、国際的な協力体制を整えることが重要である。

〔語 群〕

- | | | | | |
|------------|-----------|---------|--------------|---------|
| (ア) 半導体 | (イ) 多極化 | (ウ) 日本 | (エ) シリア | (オ) 労働党 |
| (カ) 民主党 | (キ) 胡锦涛 | (ク) オバマ | (ク) 天然ガス | (コ) 保守党 |
| (ケ) トランプ | (シ) PKO | (ス) 一極化 | (セ) ブッシュ | (ソ) PLO |
| (タ) ポピュリズム | (チ) NGO | (ツ) ドイツ | (テ) NPO | (ト) 共和党 |
| (ナ) バレスチナ | (ニ) クリントン | (ハ) 習近平 | (ホ) コマーシャルズム | |

問 1 下線部①について、この経済圏構想を何と呼ぶか。漢字四文字で答えよ。

問 2 下線部②について、正式にEUを離脱したときのイギリス首相の名を次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

- a. メイ b. キャメロン c. ブレア d. ジョンソン

問 3 に入る適切な語句を答えよ。

【3】 次の文の()に適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。また、下の間に答えよ。

漢(前漢)は、北方の匈奴に圧迫されて消極的な対外政策をとっていたが、前2世紀半ばに即位した武帝は、対外積極策に転じ、戦争によって領土の拡大をはかった。北方では匈奴を撃退し、占領した土地に軍隊を派遣して、防衛のかたわら土地を耕作させた。また(1)と同盟して匈奴を攻撃するため、(2)を西域に派遣したことをきっかけに、タリム盆地のオアシス諸都市に支配を広げた。東北では(3)を滅ぼして朝鮮北部に楽浪などの4郡をおき、南方では(4)を滅ぼしてベトナム北部を支配した。武帝の時代には皇帝に権力が集中したが、その死後は皇帝の側近である宦官や外戚が皇帝の権力をかさにきて政治に介入し、政治闘争が絶えなかった。そのなかで勢力をのぼした外戚の(5)が漢の皇帝を廃位して新を建てた。

(5)は儒教の理想である周代の制度を復活しようと、急激な改革をおこなったため、反発をまねいて支持を失った。匈奴との抗争や赤眉の乱などの反乱によって新は滅亡し、豪族を率いた漢の一族の劉秀が、皇帝((6))となって漢を復興した(後漢)。(6)は に都をおき、前漢末の体制を継承した。しかしその後、皇帝側近の外戚・宦官が対立を繰り返すようになり、2世紀後半には、こうした状況を批判した官僚・学者が宦官によって弾圧される(7)がおこるなど、中央の政治は乱れた。このため、自然災害などに対応できず、飢饉があいついで困窮する農民が増大した。こうしたなか、張角が組織した太平道や、張陵が四川ではじめ、のちに道教の源流ともなった五斗米道など宗教結社がつくれ、とくに華北一帯に信徒を広げた。184年に太平道が の乱をおこすと、各地に軍事政権が割拠して、220年に後漢は滅んだ。

後漢が滅亡すると、華北の魏、四川の蜀、長江中下流域の呉が並び立ち、中国を三分する形勢となった(三国時代)。3国のなかでもっとも強大であった魏は、蜀を滅ぼしたが、まもなく魏の将軍(8)(武帝)が国を奪って晋を建て(西晋)、280年に呉を破って中国を統一した。

〔語 群〕

- | | | | |
|---------|----------|---------|----------|
| (ア) 占 城 | (イ) 王 莽 | (ウ) 張 騫 | (ロ) 党錮の禁 |
| (カ) 大月氏 | (キ) 司馬炎 | (ク) 光武帝 | (ケ) 箕子朝鮮 |
| (ク) 司馬昭 | (コ) 土 禍 | (ク) 柔 然 | (セ) 猋 帝 |
| (ク) 班 超 | (セ) 衛氏朝鮮 | (ク) 王 建 | (ソ) 南 越 |

問 , に入る適当な語句を答えよ。

【4】 次の文の()に適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。また、下の間に答えよ。

オスマン朝ではミドハト憲法発布に続いて、1877年に議会が招集された。しかし、議会が政府高官の汚職などを糾弾はじめると、(1)は、憲法を停止し議会の閉鎖を命じて、専制政治を開始した。さらに、(2)をとなえ、みずからがムスリムを指導するカリフであることを強調して、国内外のムスリムの忠誠と支援を得ようと試みた。また、新興のドイツに近づき、イギリス・フランス・ロシアの動きを牽制した。

破綻した財政を再建するために、ヨーロッパ諸国の代表らによってオスマン債務管理委員会が設立され、租税の徴収にあたるとともに、諸外国から鉄道敷設・船舶就航・鉱山採掘、それに電気・水道などの事業への投資を受け入れた。オスマン朝政府は、その財政をみずからの手で決めるわけにはいかなかった。

しかし、(3)の敗北によるバルカン方面の領土喪失、イギリスによるキプロス占領、フランスによるチュニジア占領、ギリシアとの戦争などの深刻な危機があいつぎ、帝国の財政状況は好転しなかった。

(1)による憲法停止と専制政治に不満を持つ人々は、「(4)」と呼ばれる組織をつくり、19世紀末から20世紀初めにかけてバリに拠点を置いて反体制運動を展開した。日露戦争における日本の勝利、イランでの立憲運動などに刺激を受けたオスマン朝陸軍若手将校たちがこの運動に加わり、1908年に立憲政の再開を求めて行動をおこした。(1)は、これに抵抗できず、立憲政を宣言した。その後、中央政府の有力者と青年将校たちのあいだでの政治闘争がしばらく続き、13年になって、「(4)」が主導して、立憲政治が展開されるようになった。

オスマン朝の立て直しについて、「(4)」の中には様々な考えを持った人々がいたが、政権を握ってからは、徐々に(5)の考え方が強まってきた。(5)は、オスマン朝領内だけではなく、世界中のトルコ系言語を話す人々の団結と一体化を目指す思想で、その実現は簡単ではなかった。政府は領内でこの思想を実行しようとして、トルコ系以外の人々の反発を買った。しかし、トルコ系の人々の民族意識を呼び覚ますには効果があり、(5)のはちに生まれる に引き継がれていった。

第一次世界大戦でドイツ・オーストリア側に立って戦い、敗れたオスマン朝は、その領土の大半をヨーロッパ諸国に割譲する講和条約に調印するようにはせまられた。これに反発した軍人の(6)は、「(4)」の政府にかわって、アンカラに臨時政府を樹立し、トルコ大国民会議を組織した。彼はトルコ民族主義を主張してアナトリアの民衆の熱狂的な支持を得た。(6)は1922年、オスマン朝の君主を廃し、翌年、戦勝国と新たに(7)を結んでアナトリアを中心とする領土を認めさせた。そして、 を成立させて大統領となった。また、治外法権の廃止や関税自主権の回復にも成功した。ついで、カリフ制を廃止し、マドラサの廃止、ローマ字と太陽暦の採用、(8)への参政権付与、トルコ語・トルコ史教育研究の奨励など、脱イスラーム教とナショナリズムを強調する徹底的な西欧化政策を推進した。

〔語 群〕

- | | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| (ア) 移 民 | (イ) アレクサンドル2世 | (ウ) ムスタファ=ケマル |
| (ロ) パン=イスラーム主義 | (イ) サイクス=ピコ協定 | (カ) アブデュルハミト2世 |
| (キ) レザー=ハーン | (ウ) 女 性 | (ク) ローザンヌ条約 |
| (ク) パン=スラヴ主義 | (イ) クリミア戦争 | (セ) 統一と進歩委員会 |
| (ス) イスラーム同盟 | (セ) 奴 隸 | (ソ) セーヴル条約 |
| (ク) 国民会議派 | (イ) ロシア=トルコ(露土)戦争 | (ウ) アブデュルメジト1世 |
| (イ) ミドハト=パシャ | (ロ) エジプト=トルコ戦争 | (イ) パン=トルコ主義 |

問 1 下線部について、これを何と呼ぶか。

問 2 に入る適当な語句を答えよ。

世界史

一般選抜（2月8日実施分）

●全学部・全学科 B（前期日程）

【1】 次の文の（ ）に適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。また、下の問に答えよ。

アメリカ大陸には、海峡がアジアと陸続きだった氷期に人々が渡来して定着した。やがてアメリカ大陸には大きく二つの文明圏が形成された。一つは、北アメリカのメキシコ高原と中央アメリカの（ 1 ）半島に開花した（ 2 ）アメリカ文明圏であり、もう一つは南アメリカの文明圏である。農業では、前 2000 年紀までに主作物のトウモロコシ・（ 3 ）などを栽培する農耕が確立した。

前 1200 年頃、メキシコ湾岸地方にオルメカ文明が形成された。メキシコ高原では、1 世紀頃から（ 4 ）文明が発展し、商業・交易がさかんとなった。12 世紀頃にこの地に南下してきたアステカ人は、14 世紀に湖上の都市（ 5 ）（現メキシコ市）をたて、大ピラミッド神殿を築いて神権政治をおこなった。15 世紀に発展したアステカ王国は、メキシコ湾岸から太平洋岸までをおさめるまでになった。中央アメリカでは、紀元前から（ 1 ）半島を中心に、マヤ人が階段ピラミッドなどをそなえた石造建築の都市を数多く建設した。このマヤ文明は、（ 4 ）文明とも交流しながら、3 世紀から 9 世紀にかけて最盛期をむかえ、高度な天文観測にもとづく精密な暦をつくり、（ 6 ）進法による数学も発達させた。

地方では、前 2500 年頃から石造の神殿がたてられるようになり、前 800 年頃には、チャピン文化が成立した。その後、15 世紀中頃から高地南部の（ 7 ）を都にインカ帝国が発展し、一帯に勢力を拡大した。インカ帝国は、文字はもたなかったが、数量をあらわすために（結縄）が用いられた。

コロンブス以降に中南米へ上陸したスペイン人の「征服者」((8))たちは、先住民の文明の豊かな財宝を知ると、その略奪に熱中した。アステカ王国は（ 9 ）によって 1521 年に滅ぼされ、インカ帝国は、1533 年、ピサロによって皇帝アタワルパが処刑され滅亡した。マヤ文明の諸都市もまた、スペインに征服されていった。スペインは、メキシコ各地や（ 10 ）銀山などで金・銀の鉱山を開発した。スペインはさらに、（ 11 ）船を用いてメキシコの銀を太平洋岸の（ 12 ）からフィリピンのマニラに運び、中国の絹・陶磁器などを入手し、莫大な利益を得た((12))貿易)。

〔語 群〕

- | | | | |
|-------------|------------|-----------|--------------|
| (ア) グアテマラ | (イ) アカプルコ | (ウ) トボス | (エ) ポトシ |
| (オ) テノチティラン | (カ) コロヌス | (キ) ニ | (ク) ニ 十 |
| (ケ) ノース | (コ) コルテス | (ク) メ ソ | (シ) ハバナ |
| (ス) テオティワカン | (セ) メソポタミア | (ソ) バルカン | (タ) ユカタン |
| (チ) クスコ | (ツ) サトゥキビ | (テ) ガレー | (ト) ガレオン |
| (チ) リ マ | (ニ) ジャガイモ | (ソ) マタドール | (ネ) コンキスタドール |

問 , , に入る適切な語句を答えよ。

【2】 次の文の（ ）に適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。また、下の問に答えよ。

プロイセン・オーストリア・ロシアでは、専制主義と呼ばれる体制のもとで、農業・商工業の奨励、死刑・拷問の廃止、初等教育の拡充、宗教的寛容の実現など、様々な上からの近代化改革が導入された。

プロイセンの（ 1 ）は「君主は国家第一の僕」と自称し、官僚制整備や軍備拡充、産業振興など一連の改革をおこなった。またアカデミーを復興し、繊細で優美な（ 2 ）様式にもとづく（ 3 ）宮殿を造営して、『哲学書簡』の著者（ 4 ）や音楽家（ 5 ）らをまねいたため、首都ベルリンは文化的にも発展した。オーストリアのマリア＝テレジアとその子（ 6 ）も同様の改革をおこない中央集権化に努める一方、ドイツ語の公用語化、信教の自由、農奴解放や修道院の解散、さらに貴族の免税特権の廃止などの改革に着手した。首都ウィーンは（ 7 ）ら音楽家が集う音楽の都となった。

17 世紀末に即位したロシアの（ 8 ）は、自らオランダやイギリスなど先進国を視察し、徹底的な西欧化政策をとり、工業の育成や官僚制の整備をはかった。不凍港を求めてとの間で北方戦争を戦い、バルト海へ進出してを建設し、ここに首都を移して西欧との結びつきを強めた。（ 4 ）や『百科全書』を編集した（ 9 ）らと親交のあった 18 世紀後半の（ 10 ）も専制君主として知られ、学芸の保護や社会福祉・地方行政制度の充実などに努めたが、1773 年に（ 11 ）の農民反乱がおけるとこれをきびしく鎮圧し、農奴制と貴族の特権を強化した。また（ 10 ）は 72 年以降、プロイセン・オーストリアとともに分割に参加した。

〔語 群〕

- | | | | | |
|---------------|-------------------|----------|-----------------|-----------------|
| (ア) サンサーシ | (イ) デイドロ | (ウ) ワトー | (エ) エカチェリーナ 2 世 | (オ) ステンカ＝ラージン |
| (カ) ビョートル 1 世 | (キ) プガチョフ | (ク) バツハ | (ケ) ヴィルヘルム 1 世 | (コ) ヴェルサイユ |
| (ク) ヨーゼフ 2 世 | (シ) バスカル | (ス) ラシーヌ | (セ) ニコライ 1 世 | (ソ) フリードリヒ 2 世 |
| (タ) ヴォルテール | (チ) ロココ | (ツ) バロック | (テ) モンテスキュー | (ト) エカチェリーナ 1 世 |
| (チ) モーツァルト | (ニ) フランツ＝ヨーゼフ 1 世 | | | |

問 , , , に入る適切な語句を答えよ。

【3】 次の文の()に適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。また、下の問に答えよ。

モンゴル高原では9世紀中頃にウイグルが滅亡したあと、統一勢力は現れず、諸部族の多くは契丹(遼)に服属した。12世紀初めに契丹が滅びると、モンゴル高原の諸部族のあいだで統合の動きが強まった。やがてモンゴル高原東北部で頭角を現したテムジンは、1206年のクリルタイでハンに選ばれて(1)=ハンと称し、モンゴル系・トルコ系の諸部族を統一して大モンゴル国を建てた。彼は、軍事・行政組織として、配下の遊牧民を1000戸単位に編制した千戸制をしき、みずからの親衛隊を含めて強力な騎馬軍団を整えた。

(1)=ハンは、この軍団を率いて東方の金を圧倒したのち、ムスリム商人らの協力を得て西方遠征に出発し、中央アジア・イラン方面の新興国家ホラズム=シャー朝を倒した。彼は遠征帰還後に(2)を滅ぼすと、まもなく死去したが、彼の子や孫たちは相互に権力を争いながらも征服戦争を続けた。(3)は、金を滅ぼし華北を領有し、モンゴル高原の(4)に都を建設した。(5)は西進してロシアや東ヨーロッパを制圧し、中央ユーラシア西部にキプチャク=ハン国を建てた。その後、中央アジアにはチャガタイ=ハン国が成立し、西アジアではフレグがアッパース朝を滅ぼしてイル=ハン国を建てた。華北に拠点をおいたクビライは、1279年に(A)を滅ぼし、中国全土を支配した。こうして13世紀後半には、中央ユーラシアとその東西各地に、モンゴル人の政権が並び立った。各政権は高い自立性をもちながらもゆるやかに連合したので、これら空前の規模のまとまりは、モンゴル帝国と呼ばれる。

モンゴル高原から華北・チベット・雲南・朝鮮半島におよぶ地域を勢力基盤としたクビライは、元という中国風の国名を定め(1271年)、モンゴル高原と華北の境界に新都を築いて(B)(現在の北京)と称した。(B)は帝国全土をおおう(6)制(ジャムチ)と連結され、運河によって海とも結ばれた。(A)の滅亡後、海上交易で繁栄していた杭州・泉州・広州などが元の支配下に入り、山東半島を経て(B)に向かう海運と、杭州と(B)をつなぐ新運河によって、豊かな江南もモンゴル帝国の商業圏に組み込まれた。

元の統治は中国的な官僚制度によってなされたが、中枢はモンゴル人が担った。中央アジア・西アジア出身者は(7)と呼ばれ、経済面で力をふるった。金の支配下にあった契丹人・女真人を含む華北の人々は漢人、(A)の支配下にあった人々は南人と呼ばれた。

元は支配下の地域の社会や文化に概して放任的な態度をとったので、大土地所有も引き続き発展し、また都市の庶民文化も栄えた。なかでも口語体で書かれた戯曲は元曲として中国文学史上に重要な地位を占め、若い男女の恋愛を流麗なせりふで描いた『(8)』は、儒教的道徳の立場からは批判されながらも、中国戯曲の古典となった。

【語群】

- | | | | |
|----------|----------|------------|-----------|
| (ア) 西夏 | (イ) モンケ | (ウ) サマルカンド | (エ) 郵便 |
| (オ) カイドウ | (カ) 高麗 | (キ) 色目人 | (ク) カラコルム |
| (ケ) 西廂記 | (コ) オゴデイ | (ク) バトゥ | (シ) グユク |
| (ス) チンギス | (セ) 西人 | (ソ) 駅伝 | (タ) 春香伝 |

問 (A) , (B) に入る適切な語句を答えよ。

【4】 次の文の()に適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。また、下の問に答えよ。

中国では日本の降伏前から国共合作が崩壊し、内戦が再開されていた。国民党の腐敗に対する国民の不満が高まるなか、農民の支持を集めた共産党の人民解放軍が、都市でも労働者の支持を獲得して優勢となった。1949年10月、中国本土を制圧した共産党は毛沢東を中央人民政府主席、(1)を首相とする(A)の樹立を宣言した。蒋介石の国民党政府は(2)に逃れた。

共産党政権は、銀行や工場の国有化を実施するなど急速に社会主義化を進めた。1953年からは(3)で農業の集団化に、58年からは大衆動員による農・工業の生産増強運動である(4)政策と(5)化に着手したが、凶作が続くなかで政策は挫折し、共産党内での路線対立を誘発した。なお、中国は50年に(6)を締結し、ソ連圏の一員となった。

1958年からの(4)政策が失敗に終わると、毛沢東にかわって国家主席となった劉少奇は強引な社会主義化を緩和しようとした。しかしこれに反対する毛沢東らは66年から青年・学生を中心とする(B)を動員して、劉少奇寄りの官僚・エリートを走資派や修正主義者として追放しはじめ、この権力闘争のなかで多くの反毛沢東派が罷免・追放・殺害された。このプロレタリア文化大革命によって中国は70年代前半まで大混乱におちいった。この間、中国は核兵器の開発を進め、1964年に原子爆弾、67年に水素爆弾の実験をおこない核保有国となった。

1970年代前半に鄧小平ら文化大革命反対派が一部復権し、さらに76年に(1)と毛沢東が死去して、鄧小平が実権を握ることになった。

文化大革命の指導者の中心である「(7)」が逮捕されたのち、鄧小平は「(8)」と呼ばれる近代化政策、すなわち経済の開放と自由化に着手した。こうした体制は後に社会主義市場経済と称された。このときから外資の導入、国営企業の一部民営化、(5)解体などがおこなわれ、中国経済は成長軌道に乗りはじめた。

【語群】

- | | | | |
|---------------|---------------|-----------|------------------|
| (ア) 周恩来 | (イ) ソフホーズ | (ウ) 香港 | (エ) 奉天派 |
| (オ) 台湾 | (カ) 李承晩 | (キ) 人民公社 | (ク) 中ソ友好同盟相互援助条約 |
| (ケ) 四つの現代化 | (コ) 第1次五カ年計画 | (ク) 南巡講話 | (シ) 一国二制度 |
| (ス) 四人組 | (セ) 太平洋安全保障条約 | (ソ) アメリカ | (タ) 開発独裁 |
| (チ) 中国共産主義青年団 | (ツ) ネルチンスク条約 | (テ) 人民義勇軍 | (ト) 大躍進 |
| (チ) 三つの代表 | (ニ) 洋務運動 | | |

問 (A) , (B) に入る適切な語句を答えよ。

世界史

●全学部・全学科 C (前期日程)

一般選抜 (2月9日実施分)

【1】 次の文の()に適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。また、下の間に答えよ。

中世末期のヨーロッパでは、黒死病(ペスト)の大流行によって多くの死者が出たため、生ける者としての人間に以前よりも大きな価値が見出されるようになった。また、イスラーム圏から伝わった諸学問の影響を背景に、自然界に働きかける技術への関心が強まった。このため、自然とその一部である人間が肯定的なかたちで探究されるようになり、様々な発見がなされた。これらの動きをもとに、文芸・科学・芸術などの多様な方面で文化活動が展開されるようになり、これをルネサンス(「」の意味)と総称する。

ルネサンスの目的の1つは、人が価値あるものとして現世を生きるための指針を得ることにあり、そのためにキリスト教以前のギリシア・ローマの文化が探究された。文芸や思想面におけるこの動きを、 (ヒューマニズム)という。中世の西ヨーロッパでギリシア語は忘れられていたが、オスマン帝国の圧迫でビザンツ帝国から逃れた知識人によって伝えられた。

者たちは、ギリシア語を学びつつ、さらに信仰と学問の言語として存続していたラテン語の知識を用いて、ヨーロッパ各地の修道院に死蔵されていた文献を解読し、古代のいきいきとした人間の姿を復活させた。自身も 者であったコジモ・デ()が組織した学芸サークル(プラトン=アカデミー)にはすぐれた学者が集い、プラトンら古代ギリシア思想の文献学的研究やラテン語訳を手がけた。また、()の建造を指揮した建築家ブルネレスキや、コロンブスの航海に影響を与えた天文学者・地理学者の()も、この学芸サークルに所属していた。()によって()が、さらに()によって地動説がとねえられ、人々の世界観に大きな影響を与えた。イタリアの芸術家たちは人間の生の輝きを、古典古代の様式を手本にいきいきと表現した。その表現様式は、()家の庇護下で神話画「ヴィーナスの誕生」を描いた()、ミラノの修道院食堂に「最後の()」を描いた万能人 、システィーナ礼拝堂の壁面に祭壇画「最後の()」を描いたミケランジェロ、同じヴァチカン宮殿内の一室に「アテネの学堂」を描いた()といった盛期ルネサンスの巨匠の作品によって完成の域に達した。 のもとで、文芸でも豊かな成果が生み出された。地獄・煉獄・天国からなる死後世界の旅を通じて人間の生を活写した『 』の作者ダンテをはじめ、『デカメロン』の作者()や『カントバベリ物語』の作者()などは、ラテン語ではなく各国語で文芸作品を著し、のちの国民文化の形成に貢献した。

〔語 群〕

- | | | | |
|-------------|-----------|------------|---------------|
| (ア) コペルニクス | (イ) ゲーテ | (ウ) ケルン大聖堂 | (エ) フィレンツェ大聖堂 |
| (オ) ブルボン | (カ) チョーサー | (キ) ケプラー | (ク) トスカネリ |
| (ケ) ヴィヴァルディ | (コ) 生 誕 | (ク) 再 生 | (シ) 天球回転論 |
| (ス) ファウスト | (セ) 晩 餐 | (ソ) 審 判 | (タ) ポッカチオ |
| (チ) トスカーナ | (ツ) フィチーノ | (テ) メディチ | (ト) 地球球体説 |
| (ナ) ボッティチェリ | (ニ) ラファエロ | (ヌ) ベトラルカ | (ネ) アンセルムス |

問 、 、 に入る適切な語句を答えよ。

【2】 次の文の()に適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。また、下の間に答えよ。

1775年、()郊外のレキシントンとコンコードで 本国軍と植民地側民兵の衝突がおこり、アメリカ独立戦争がはじまった。植民地軍は第2回()会議で()を総司令官に任命して戦争準備を進めたが、 本国はこうした動きを反乱とみなし、衝突がつついた。

そうしたなか、()の『コモン=センス(常識)』が植民地の人々の独立心をかきたてた。()会議は愛国派の結集と外国の支援を期待して、1776年7月4日、()で()らの起草した独立宣言を発表した。この宣言は、自然法理論にもとづいて基本的人権をうたい、それを侵害する政府に対しては革命権を主張した。統治は被治者の同意にもとづかなければならないという、近代民主政治の基本理念を明言したものであった。翌77年、()会議は連合規約を採択し、植民地側は連合してアメリカ合衆国の成立をうたった。

アメリカ軍は当初苦戦したが、 と敵対していたフランスと が独立を承認して参戦し、 の提唱で結成された武装中立同盟などにも助けられて、戦局はアメリカに有利にかたむいた。ポーランド人()のような義勇兵の参加もあった。1781年、()の戦いで米仏連合軍にやぶれた は、83年に()条約でアメリカの独立を承認し、()川以東の地をアメリカに譲った。

独立当初のアメリカ合衆国は、()の州からなるゆるい連合体にすぎなかったが、より強力な中央政府を求める意見が強まり、1787年、()の憲法制定会議で合衆国憲法が採択された。強い連邦政府を支持する連邦派と、州権の維持を主張する反連邦派が対立するなかで各州での憲法批准が徐々にすすみ、89年に()を初代大統領として新政府が発足した。

〔語 群〕

- | | | |
|--------------|------------|----------------|
| (ア) コシューシコ | (イ) バリ | (ウ) 大陸 |
| (エ) ジャクソン | (オ) トマス=モア | (カ) ボストン |
| (キ) 13 | (ク) サラトガ | (ケ) ジョン=アダムズ |
| (コ) ラ=ファイエット | (ク) ロンドン | (シ) ボルチモア |
| (ス) 50 | (セ) 連 合 | (ソ) フィラデルフィア |
| (チ) ワシントン | (ツ) ミズーリ | (テ) ミシシッピ |
| (ナ) トマス=ペイン | (ト) ヨークタウン | (ネ) トマス=ジェファソン |
| (ニ) ニューヨーク | | |

問 1 、 、 に入る適切な国名を答えよ。

問 2 下線部について、これを構成する州に含まれないものを次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

- a. ヴァージニア b. ルイジアナ c. ペンシルヴェニア d. ジョージア

【3】 次の文の()に適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。また、下の間に答えよ。

11世紀半ばの北アフリカ(マグリブ)では、先住民 のあいだに熱狂的な宗教運動がおこり、イスラーム教への改宗が急速に進んだ。この宗教運動は、モロッコのマラケシュを中心とする国家建設に結びつき、(1)、つづいて(2)が勢力を誇った。この2つの王朝は、北アフリカとイベリア半島の大部分を領有し、サハラ砂漠の南への遠征をおこなって、アフリカの内陸部にイスラーム教が広がるきっかけをつくった。

(3)沿岸では金が豊富に産出された。すでに8世紀には、(4)がこの地域にあり、金・象牙・奴隷などとサハラ砂漠をこえて運ばれてくる塩・馬・武器などを交換する交易で栄えていた。11世紀後半に(1)の遠征により、(4)は衰えた。13世紀におこった(5)は、イスラーム教を受け入れ、14世紀に最盛期を迎えた。この王国は「黄金の国」としてエジプトなどでも知られていた。ついで、15世紀、ほぼ同じ場所にソンガイ王国がおこり、(3)流域の都市トンブクトゥは、交易で大いに発展した。

東アフリカの沿岸には10世紀以降、マリンディ・ザンジバル・キルワなどの港市が発達し、西アジア各地から、金・奴隷・象牙などの交易のために、アラブ系やイラン系の商人が訪れた。この地域では、アラビア語の単語を多く含む現地語である(6)が共通語として用いられるようになった。

ザンベジ川とその南のリンボポ川の流域には、12～13世紀にマブングブエ、15～17世紀にはモノモタパ王国が成立した。近くで産出される金の交易で豊かになった有力者は、丘の上に石造の壁に囲まれた大きな館を建設した。13～14世紀に同じ地域に成立する(7)は、人口1万8000の大都市で、石で大きな首長の家や城壁が建てられた。その遺跡からは、中国製の陶器・綿布・貨幣や各種銅製品などが発見され、(7)が遠隔地交易の拠点となっていたことがわかる。

イベリア半島では、11世紀に後ウマイヤ朝が滅び、ムスリムの小さな王国が分立した11世紀頃から、北部のキリスト教王国の力が次第に強くなってきた。13世紀になると、(2)の支配下にあったコルドバやセビリヤなど主要な都市は、キリスト教徒の王国に占領された。

ただし、政治権力者の宗教が変われば、その治下の住民すべての宗教が変わったということではない。14世紀頃までは、ムスリム、ユダヤ教徒などが、キリスト教徒とともに同じ地域にまじりあって住んでいた。しかし、キリスト教徒の政権は、徐々に不寛容な宗教政策をとるようになり、非キリスト教徒への迫害を強めた。そして、1492年に、新興の 王国が最後のムスリム政権であるグラナダの(8)を滅ぼすと、その支配下にあるすべての人々にキリスト教を強要した。

〔語 群〕

- | | | | |
|-------------|------------|--------------|-------------|
| (ア) セルジューク朝 | (イ) アイユーブ朝 | (ウ) マタラム王国 | (エ) イル＝ハン国 |
| (オ) ムワッヒド朝 | (カ) マムルーク朝 | (キ) コンゴ | (ク) ファーティマ朝 |
| (ク) ヘブライ語 | (コ) マリ王国 | (サ) サンスクリット語 | (シ) ニジェール川 |
| (ス) 地中海 | (セ) ナイル川 | (ソ) ムラービト朝 | (タ) ガーナ王国 |
| (チ) ジンバブエ | (ツ) アチェ王国 | (テ) スワヒリ語 | (ト) セネガル |
| (ナ) ナスル朝 | (ニ) ガズナ朝 | | |

問 , に入る適当な語句を答えよ。

【4】 次の文の()に適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。また、下の間に答えよ。

14世紀初め頃、イル＝ハン国の支配から独立したトルコ系の諸政権とビザンツ帝国が攻防するアナトリア西部に、オスマンを始祖とする国家が誕生した。この国家は君主であるスルタンを中心にバルカン半島で勢力を広げ、オスマン帝国へと発展した。(1)1世は、1402年に西進してきたティムールとのアンカラの戦いに敗れたが、後継者らがまもなく勢力を回復させた。とくに(2)2世は1453年にコンスタンティノープル(のちの)を攻略し、ビザンツ帝国を滅ぼした。これ以後、オスマン帝国は長い歴史をもつこの都市を首都として、バルカン半島とアナトリアに中央集権的な支配をしいた。

オスマン帝国初期の拡大を支えたのは、トルコ系の騎士(シバーヒー)だった。帝国は彼らに征服地の農地の徴税権などを分与するかわりに軍役に課し((3)制)、中央政府に結びつけた。その一方で、帝国はバルカン半島のキリスト教徒の子弟を徴用し、イスラーム教に改宗させたうえで「スルタンの奴隷」として活用した。そのなかから編制されたスルタン直属の常備歩兵軍団である(4)は、最新の火器を用いて帝国の拡大に貢献した。

16世紀に入ると、オスマン帝国は(5)1世のもとでサファヴィー朝と争い、アナトリア東部を支配下に入れた。さらに帝国は南進し、1517年にマムルーク朝を滅ぼしてシリア・エジプトを領有するとともに、それまでマムルーク朝が保持していたイスラーム教の両聖都メッカと の保護権も獲得した。

オスマン帝国は、つづく(6)1世のもとでも積極的な拡大政策を推し進めた。彼は東方でイランのサファヴィー朝と争って、バグダードを含むイラクを征服し、西方ではハンガリーを征服して、1529年にはハプスブルク家の本拠地ウィーンを包囲した。さらに、38年にはスペイン・ヴェネツィアの連合艦隊を(7)の海戦で破り、北アフリカに至る地中海の制海権を得た。

17世紀になると、オスマン帝国の東西への拡大は終わり、領土は安定した。それにともなって、帝国の税制は(3)制から徴税請負制へと変化した。徴税請負は中央政府の官僚やウラマー、さらに軍人たちによって担われた。オスマン帝国の人々は、イスラーム法とそれを補完するスルタンの法(カーヌーン)のもとで暮らした。また、イスラーム法はキリスト教徒やユダヤ教徒に対する支配の原則も定めていたため、帝国支配下の両教徒は、それぞれの宗教共同体の法に従って暮らすことを保障され、イスラーム教徒と共存した。

オスマン帝国内では、東西交易や首都 での需要などから、各地に毛織物・綿布・生糸・絨毯などの特産品が生まれ、都市が成長した。また、帝国とヨーロッパとの交易では、スルタンから商業活動や居住の自由などの(8)と呼ばれた特権を認められたヨーロッパ商人が活躍した。

〔語 群〕

- | | | | |
|------------|-----------|-------------|---------------|
| (ア) パーブル | (イ) レバント | (ウ) イクター | (エ) ザミンダリー |
| (オ) イェニチェリ | (カ) スレイマン | (キ) メフメト | (ク) マンスール |
| (ケ) アッパース | (コ) ティマール | (サ) ディーワーニー | (シ) カピチュレーション |
| (ス) プレヴェザ | (セ) マフムト | (ソ) セリム | (タ) バヤジット |

問 , に入る適当な語句を答えよ。